

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 あさごふれ愛の郷 YOU愛センター

公表日 令和 7年 2月 7日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	ホールや個室等スペースは十分あり、活動内容や個々の状況に応じて使い分けしている。	スペースが広く死角ができるため、職員配置等、安全面での配慮を怠らないようにする。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	4	利用者の状態に応じてマンツーマンであったり、基準以上の配置をしている。	法人全体で若年層の入職が極めて少なく、職員の高齢化が見られる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	4	ほぼバリアフリー化になっており、利用者に合わせて分かりやすい環境整備を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	3	日々の清掃、消毒を適切に行っている。広いホールではからだを動かす活動ができ、静かに落ち着いて過ごせる個別スペースも確保できている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	ルールを伝え、必要に応じて使用できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	3	全職員が参加できる職員ミーティングで可能な限り行っている。	職員が全員参加できる日が少なく広く参画できていない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	ミーティングを行い、必要に応じて業務改善に努めている。またご意見など伺った時にもその都度早急な対応を心がけている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	日々のミーティングで気づきや意見を話し合う時間を設け、必要に応じて業務改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5		外部評価は実施していない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	3		研修を受講する機会があったが特定の職員のみだったため、全職員が受講できる機会の確保に努める。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	4		現在作成中。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか。	6	1	適切に作成している。	
	13	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	支援会議を実施し、職員間で検討している。不在の職員は後日記録を確認するようにしている。	
	14	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	3	情報共有を図るとともに、支援の変更が生じた場合もミーティングや紙面で早急に共有できるようにしている。	非常勤職員に対して共有に時間差が出るため改善方法を検討する。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	3	日々活動記録を記入し、それをもとにケース記録を作成している。またモニタリングや担当者会議など適正に使用し確認している。	
	16	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)には、児童発達支援(放課後等デイサービス)ガイドラインの「児童発達支援(放課後等デイサービス)の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	2	5領域に沿った分かりやすい課題設定を心がけている。	「地域支援・地域連携」の内容については充実していないため、今後の検討課題とする。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	2	季節の行事に合わせた製作、大小イベントの計画、日々のレクの内容など、行っている。	立案する職員に偏りがあり、チームで行えていない。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	日々、個別・集団活動を実施し、固定化しないよう工夫している。	

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	6	1		集団活動に参加できない利用者もあり、内容に工夫が必要。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	短時間でも可能な限り行っている。	休日などはその時間が取れず、個別に情報共有を行うため、支障が出る時がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	個別活動記録を日々記入し、共有できるようにしている。	職員全員がそろふ日が少なく、全てを共有するのは難しい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	個別活動記録を日々記入し、それを基にケース記録を作成し、振り返り、改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	定期的に行っている。	
	24	<b>【放デイのみ】</b> 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	4	2	日々の活動の中で組み合わせる支援を行っている。	地域交流の活動の提供があまりできていない。
	25	<b>【放デイのみ】</b> こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	スケジュール決定や日々のおやつ選択など、小さな自己決定の積み重ねを支援している。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	2	児童発達支援管理責任者が、支援に携わっている職員に聞き取りを行った上で参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	必要に応じて行っている。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1	必要に応じて行っている。	
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	実施できていない。	調整が困難。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	連絡帳や送迎時、ライン等で行っている。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	5	実施していない。	今後必要に応じて検討していく。
	32	<b>【児童事業所・児童センターのみ】</b> 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	33	<b>【児童事業所・児童センターのみ】</b> 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	34	<b>【児童センターのみ】</b> 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	<b>【児童センターのみ】</b> 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	36	<b>【児童センターのみ】</b> (自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	37	<b>【放デイのみ】</b> 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	3	送迎時に行っている。	学校との情報共有は限定的になっており、今後充実させていく。
	38	<b>【放デイのみ】</b> 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	利用開始前に訪問したり、児童発達支援事業所の相談員と連携を密にしている。	
	39	<b>【放デイのみ】</b> 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	相談員を通じて提供している。また法人内の事業所と連携している。	

	40	<u>【放デイのみ】</u> (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	現在は参加していない。法人内の相談員が参加しており、必要に応じて情報共有を行っている。	
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	2	契約時、内容変更時に行っている。	支援プログラムは現在作成中。
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	面談や送迎時に意向を伺っている。	利用者の意向を尊重できるよう、話しやすい環境や関係を築いていく。
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	実施している。	
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	連絡帳、送迎時、ライン等で行っている。	
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	7	実施していない。	必要に応じて検討していく。
	46	子どもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	法人も含め対応している。	
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1	行っているが発信機会は少ない。	今後充実を図る。
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	1	契約時に同意書を交わし、写真掲載等気を付けている。個人ファイルは施錠できる書庫に保管している。	
	49	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1	視覚支援等個別に対応している。家族には必要に応じて口頭ではなく、文書やライン等でお伝えしている。	
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	コロナ禍以降実施できていない。	調整が困難。必要に応じて検討する。
	51	<u>【放デイのみ】</u> 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	2	行っている。また関係機関とも連携を図っている。	
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	4	日々の支援の中で訓練を想定した活動で行っている。	マニュアルを閲覧していただいたことはなく、今後契約時に提示し周知を図っていく。
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	1	6	ミーティング等において職員間で実施している。	訓練の充実を図る。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	2	契約時のアセスメント作成において聞き取りを行い、必要に応じて個別の緊急対応マニュアルを作成、面談等で定期的に修正している。	
	55	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	家族からの情報や処方箋の提供のみ。	
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	3		安全計画は作成していない。今後検討していく。
	57	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	4		安全計画は作成していない。今後検討していく。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	4	その都度報告書を作成し、ミーティング等で振り返りや事故防止に向けて話し合っている。	
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	法人内で虐待防止委員会を2か月に1回開催し、講師を招く等全職員に研修を実施している。	
60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	2	委員会で必要に応じて検討している。また適切に記載している。	今後も慎重に対応していく。	